



2024年5月21日

街づくり委員会

- 日時： 5月21日(火) 10時30分～
- 場所： 河原センタービル(3階会議室 大阪市中央区難波千日前5-19)
- 内容：

1. 放置自転車対策について
2. まちなかミュージック今後の活動について
3. 大阪・関西万博への取り組みについて
4. 防災WGの現状について
5. その他
関空の状況について
USJ再生の「森岡 毅氏」の講演会について
エール学園 ICT 校 PBL (課題解決型学習) との連携について

●今後の開催予定

【街づくり委員会】 ※6月から毎月第3木曜日に変更になります

6月20日(木) 10:30～ 河原センタービル 会議室
7月18日(木) 10:30～ 河原センタービル 会議室

【防災WG】 6月 3日(月) 10:30～ 河原センタービル 会議室

【企画委員会】 6月27日(木) 15:00～ 河原センタービル 会議室
7月25日(木) 15:00～ 河原センタービル 会議室

総会・懇親会 5月24日(金) 16:00～ 総会：なんばパークスタワー7階B会議室
懇親会：なんばパークス8階「WAKUPAKU」

以上

2024年度
街づくり委員会

- 放置自転車対策
- まちなかミュージック

これまでのWG活動の概要をメディア向けに整理し、報道発表を実施

2024年4月24日(水) 報道発表の様子



出席いただいたメディア

- ・毎日新聞社
- ・産経新聞社
- ・日経新聞社
- ・共同通信
- ・MBS 毎日放送
- ・YTV 読賣テレビ放送
- ・KTV 関西テレビ放送
- ・NHK日本放送協会

メディア各社が、自転車WGの取組やリアルタイム撤去の効果を報道・周知

NHK

MBS

大阪・ミナミの放置自転車 リアルタイム撤去開始後は減少

04月27日 07時40分



大阪市が、大阪・ミナミで行っている放置自転車のリアルタイム撤去の効果を調べたところ、開始後は放置自転車の数が減少していたことがわかりました。市や地元の商店街などは、自転車を使ってミナミに来る場合は、駐輪場を利用するよう今後もPR活動を進めていくことにしています。

す。

大阪・ミナミでは、駐輪場ではなく、路上に止められている放置自転車が、歩行者の通行の妨げになったり、景観を悪化させたりするなどの問題になっています。

大阪市は去年11月から放置自転車を見つけ次第、すぐにその場から運び出すリアルタイム撤去を行っていて、効果を検証するために行った調査の結果を、地元の商店街や企業などで作るワーキンググループとともに公表しました。

それによりますと南海なんば駅周辺では、▽開始前の去年11月5日は1日平均で3333台の放置自転車が確認されたのに対し、▽開始から1か月あまりたった12月17日になると、1日平均で3101台に減少していたということです。

ワーキンググループは、エリア帯を歩行者優先の空間に再編する計画が進んでいることなども影響していると分析していて、今後も放置自転車をさらに減らせるよう、自転車を使ってミナミに来る場合は、駐輪場を利用するようPR活動を進めていくことにしています。



毎日新聞

ミナミ・放置チャリ 対策5カ月 即撤去効果アリ 午前9時台、36%減の日も 大阪市など報告 /大阪

地域 大阪 関西
毎日新聞 2024/4/26 地方版 有料記事 695文字



大阪・ミナミで長年課題となっている放置自転車について対策の効果を説明するワーキンググループの栗原智一さん(左)ら=大阪市北区の同市役所で、長沼辰哉撮影

大阪・ミナミで放置自転車に警告札を貼ってすぐに移動する「リアルタイム撤去」などに取り組んでいる大阪市や地元商店街でつくるワーキンググループ(WG)は、対策の効果を発表した。2023年11月13日の対策開始前後の数日間で放置自転車数を比べると、開始後はおおむね減少し、休日の午前9時台では40%近く減った日もあった。【長沼辰哉】

金城学院大学北折教授へのヒアリング

▼当日メモ

金城学院大学北折教授打合せ議事録

日時：2024年4月30日 13時～14時半

場所：金城学院大学 E1 棟 5 階会議室

金城学院大学：人間科学部多元心理学科北折教授、経営企画部経営企画課副課長

自転車対策 WG：

大阪市建設局：三井氏、大段氏

戒橋筋商店街振興組合：山本氏

ミナミ御堂筋の会：絹原氏

ミナミまち育てネットワーク：栗原

【打合せ概要】

・戒橋筋商店街の山本事務局長が北折教授著書「迷惑行為はなぜなくなるのか? 「迷惑学」から見た日本社会 (光文社新書)」に割れ窓理論や様々な対応策が記載されているのを読まれて、北折教授に面談を申し入れて快諾されたことを受けて、ミナミにおける放置自転車及び押し自転車対策について相談をした。

【打合せ内容】(特記なきは北折教授意見)

・まずやることは、4600 台の駐輪場台数に対して、7000 台の来訪が来ておりキャパオーバーしていること、駐輪場はすでに作ってきておりこれ以上増やすのは無理であることを理解して頂くこと。

・ある程度の方々はその内容をしっかりと伝えていければ納得するはず。

・対策として考えられるのは、

①自転車ではなく歩いて来ていただける方にインセンティブをあげる、例えばインセンティブとして商店街で使える商品券等とすることで商店街の活性化にもつながる

②リアルタイム撤去のプロモーションをする中で、マナー良く使っていただいてありがとうございますといったお礼をお伝えする、人はそういうお礼に弱い

③押し自転車の促進については、自転車に乗っていけない場所に乗っている人は恥ずかしい人だということになるようなアピールをする、日本人は恥に弱い

→御堂筋の荷捌き専用の一時停車帯には、AI カメラをつけていて、5分以上その場に駐車するとランプが光るような仕組みを入れている。(大阪市)

→とても良い取り組みと思う。神戸では目の画像を貼って「見られている」ことをアピールしたり、京都では神社のモチーフを置いて置きづらくする取り組みもしている。

④弱者に被害が出ているようであれば、しっかりとその内容を伝えることも良い。子どもや老人が自転車でケガをしたといったリアルな内容はしっかり届くと思う、日本人は弱者を守ることを刷り込まれている。8割の人はちゃんと響く。2割はどうしても理解できない

人ということになる。

・羞恥心を持ってもらえるような手法はしっかり考えたい。なんば広場には椅子・机を置き人々も見ている状況を作っている。また看板を設置してしたくなくなるような内容を盛り込んでいきたい。(山本氏)

・また、2026年には自転車の違反に青切符が切られる形になるため、なんば広場では秋に交通安全キャンペーンを実施する予定。押し自転車の徹底やヘルメットファッションショーをやりたい。(山本氏)

・記述的規範を活用し、「あるいてきましょうキャンペーン」や「あるいた方が楽しいまち」、「自転車で来るのは実は少数派です」といったプロモーションやキャッチコピーも考えられる。

→歩いてミナミに行った方がタイガースが勝つらしい、みたいなジnkスのようなジョークも大阪らしくて面白いと思う。(磯部氏)

以上

▼金城学院大学のリリース

大阪市官民協同の取り組みに人間科学部多元心理学科 北折教授が協力

人間科学部多元心理学科北折教授が、大阪・ミナミ地区において地元商店街・企業と大阪市で組織されたミナミ自転車対策ワーキングからの協力依頼により、独自の取り組みで進める放置自転車や押し自転車対策へアドバイスを行いました。

大阪・ミナミ地区では2000年頃から環境が悪化し、ある商店街では通行者数が往時の6割ほどになり、地域ぐるみで環境浄化を開始。地域と行政、財界とミナミ活性化協議会を設け、駐輪場整備、放置禁止区域指定、啓発・撤去活動を推進してきました。

一時的には効果を見せるものの、新型コロナウイルス禍発生後、改めてミナミのまちで放置自転車が増加。2025年の大阪・関西万博を見据え、歩行者が安全・快適に回遊できるミナミのまちへ抜本的改善を図るべく、2023年4月に官民で自転車対策のワーキングをスタートさせました。

ミナミ自転車対策ワーキングでは、調査と実践、効果測定を重ね、さらなる実践と社会実験に取り組むなかで、北折教授の著書をきっかけに今回の協力依頼がありました。

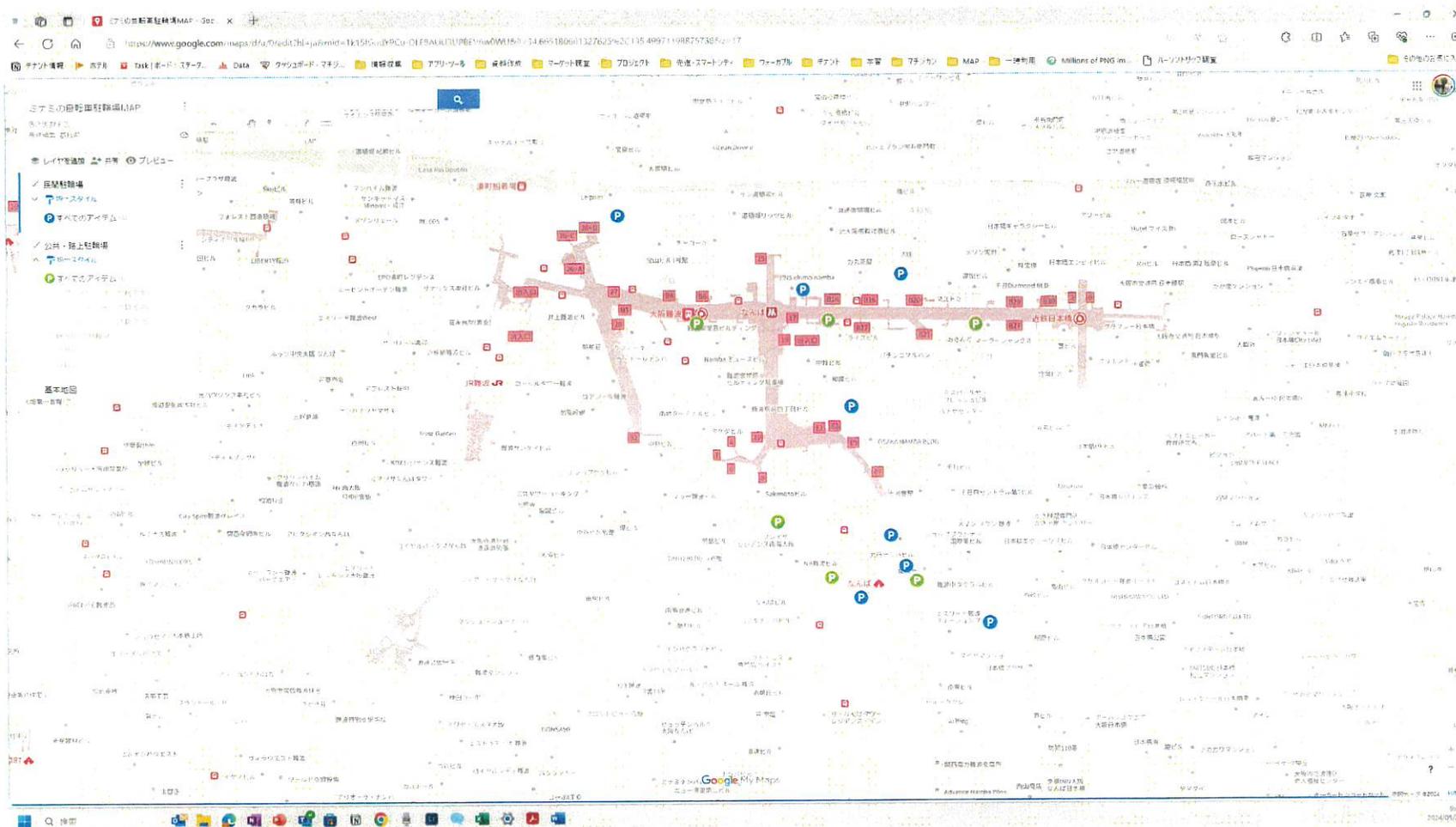
第一回の話し合いでは、戒橋筋商店街振興組合事務局長の山本さん、大阪市建設局の三井さん、大段さん、ミナミまち育てネットワークの栗原さん、ミナミ御堂筋の会の絹原さんが金城学院大学にお話しになり、ミナミ地区の状況、ミナミ自転車対策ワーキングのこれまでの活動の説明、今後の活動展望などについて説明がありました。北折教授からは対応策についてのコメントや提案、集団行動心理についての事例紹介などを行いました。

今後もミナミ自転車対策ワーキングへの協力を通じて、大阪・ミナミ地区の活動を支援していきます。



ミナミでのイベントや行政の取組と連携してPRや効果測定等の取組を継続

	イベント 工事・規制など	さらなる効果的な方策	新しい仕組みの検討	啓発活動の新しい展開
		<ul style="list-style-type: none"> 撤去輸送台数を増強 撤去実施時間の拡充 思い切った改善策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の効率的運営検討 撤去～保管の仕組み検討 押し自転車促進の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 事業関係者啓発の手立て 行動変容にむけたPR お悩みの地域どうし連携
5月	なんば広場の椅子・机新規設置	<ul style="list-style-type: none"> 輸送台数と撤去時間の拡充(試行) 	<ul style="list-style-type: none"> 撤去の効果測定と分析 自転車交通安全キャンペーン素案 	<ul style="list-style-type: none"> 交通心理学者への聞き取り 啓発対象と手法(ツールと言葉)の検討
6月			<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の効率的運営の効果検討 撤去保管の一元運営の効果検討 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発ツールの試作・実験 関西道路研究会開催(予定)
7月				
8月				
9月	9/20-22 御堂筋チャレンジ 9/22 カーフリーデー 9/28・29 (旧)リバーフェスティバル 9月中 なんさん北側完成/ 押し自転車規制開始(最速)	<ul style="list-style-type: none"> 思い切った取組のロードマップ策定?(次年度予算化に向けた動き) 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車交通安全キャンペーン キャンペーンの効果測定と分析 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発ツールの集中展開(ポスティング、デジサイ・ビジョン活用等)
10月		<ul style="list-style-type: none"> 撤去保管料増額(10/1予定) 自転車2,500円→3,500円 	<ul style="list-style-type: none"> プレス発表? 	
11月		<ul style="list-style-type: none"> 自転車対策月間(国調査予定) 		
12月				



QRコード化
駐輪場の場所が
わからない人に提示



スマホに表示
自分の場所・
駐輪場の場所をプロット

ポイント① 多様なライブステージ

▼市場の中



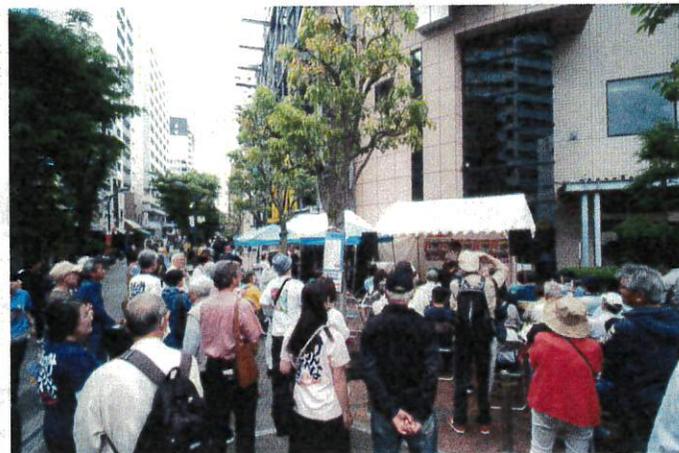
▼商店街の一角



▼地下道の中



▼道路上



ポイント② まちあるきとの連携

▼イベント限定メニューの提供



屋台はまばら

商店街も賑わい

ポイント③ 人員配置・アーティスト

▼各ステージにMCを配置



▼エリア内の必要箇所には警備員を配置



▼ステージ毎にアーティストの特性・規模が違う



▼歩行者動線の確保等の考えは薄い…?



▲音量もまちなかミュージックの1.5倍ほど